

用語の説明

【実質公債費比率】

普通会計、特別会計などの借入金の返済額やこれらに準じる額のうち、普通会計で負担する額の大きさを指標化し、実質的な公債費負担の度合いを示すもの

【将来負担比率】

普通会計の借入金残高だけでなく、将来支払っていく可能性のある負債などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの

【実質赤字比率】

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの

【連結実質赤字比率】

すべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体の赤字の程度を指標化し、市全体としての財政運営の深刻度を示すもの

【財政再生基準】

基準を超えると、国の関与による確実な再生を行うため、財政再生計画の策定などが義務付けられる

【早期健全化基準】

基準を超えると、自主的な改善努力によって財政を健全化するため、財政健全化計画の策定や外部監査の要求などが義務付けられる

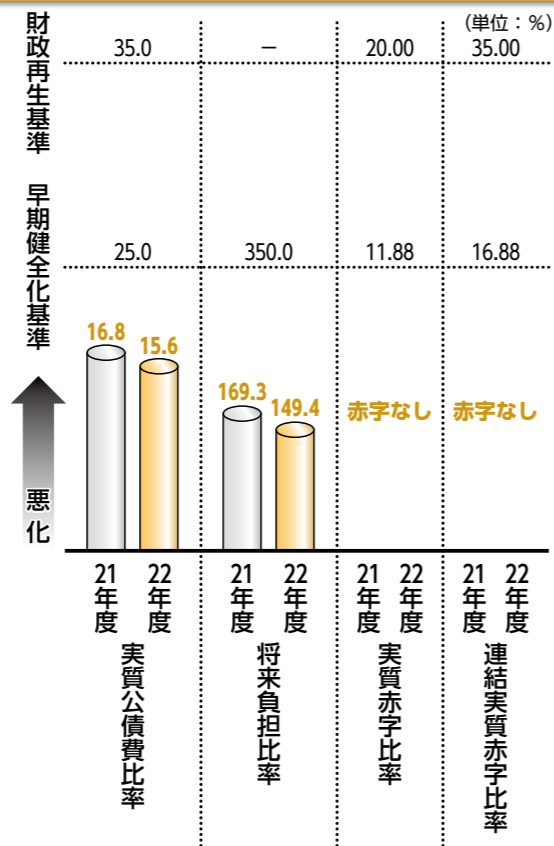
【資金不足比率】

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化して、経営状況の深刻度を示すもの。経営健全化基準（20%）を超えると経営健全化計画の策定や外部監査の要求などが義務付けられる

指標の公表について

自治体の財政破綻を未然に防ぎ、財政状況の悪化した団体に対して早期健全化を促すため、平成19年度決算から財政判断指標（健全化判断比率、資金不足比率）を公表することが義務付けられています

財政健全化判断比率



資金不足比率

市の公営企業会計は、  
 ・津山市水道事業会計  
 ・津山市工業用水道事業会計  
 ・簡易水道事業特別会計  
 ・食肉処理センター特別会計  
 ・下水道事業特別会計  
 ・農業集落排水事業特別会計  
 ・土地取得造成事業特別会計 の7会計です。  
 いずれの会計でも資金不足は発生しませんでした。

市の平成22年度決算に基づく算定の結果、健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率）、資金不足比率ともに早期健全化基準、経営健全化基準を下回りましたが、市財政は、依然として厳しい状況となっています。

財政健全化判断比率と資金不足比率の公表

問い合わせ先 財政課 032-2020

平成23年度津山市文化功労者表彰

和田 力さん（岡山市）



和田さんは昭和28年に京都大学工学部を卒業後、制御工学を専門に研究され、大阪市立大学、岡山大学、津山工業高等専門学校（以下、津山高専）と長年、教育の現場に立ち、数多くの学生を指導されてきました。

平成3年からは津山高専校長として「専攻科」設置のほか、地域企業と津山高専の連携を促す「津山高専技術交流プラザ」の開設に尽力され、産学官の交流を促進されました。津山高専技術交流プラザでの津山高専と企業との共同研究は新商品開発や技術革新などの成果を上げています。

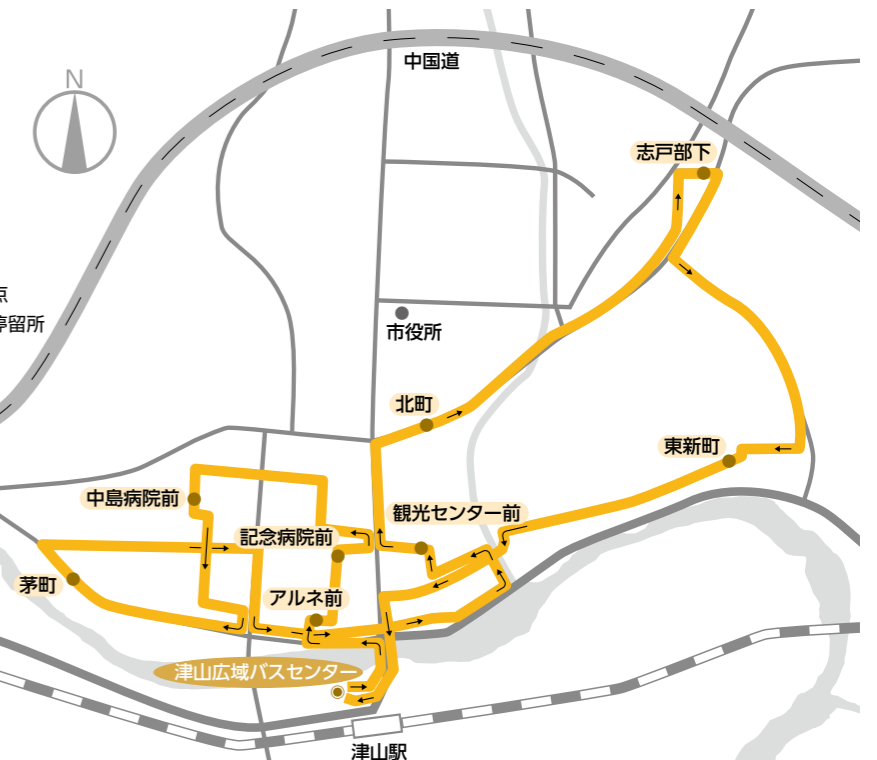
平成13年5月からは、つやま産業塾塾長に就任し、以後10年にわたって経営能力開発講座や市民公開講座を実施。経営戦略や技術革新に対応できる人材、津山市の将来を担うリーダー輩出に尽力されました。経営能力開発講座では、10期で200人を超える塾生を指導されてきました。

津山高専校長就任から、平成23年9月につやま産業塾塾長を退任されるまでの約20年間、津山市の産業界を支えてこれ、各方面から厚い信望を得られています。

○略歴

昭和28年 京都大学工学部卒業  
 昭和28～36年 大阪市立大学勤務  
 昭和36～平成3年 岡山大学勤務  
 （昭和36～37年文部省内地研究員、昭和53年文部省在外研究員）  
 平成3～10年 津山工業高等専門学校校長  
 平成10年 津山市市政功労者表彰  
 平成10～12年 国際協力事業団（JICA）プロジェクトリーダー  
 平成16年 瑞宝章（瑞宝中綬章）  
 平成13～23年 つやま産業塾塾長

12月から運行開始 ごんごバス 新路線 「小循環線」



乗り降りのしやすい低床バスを導入した「小循環線」で買い物や通院が便利になります。

まちなかの観光、散策にもご利用下さい。

※この路線の設置は「津山市地域公共交通総合連携計画」（平成21年度策定）によります

※運行開始日・時刻表は、広報つやま12月号でお知らせします

問い合わせ先 中鉄北部バス ☎27-2827、産業政策課 ☎32-2075